

KEIZAI REN

情報 11

2022.11 NO.1298

安全・安心・新鮮でおいしい静岡県産の農畜産物をお届けします。

産地・消費地の情報を集め 有利販売に取り組む販売情報センター



▲世界お茶まつり2022



▲静岡バラフェア(大田市場)

Main topics

産地・消費地の情報を集め
有利販売に取り組む販売情報センター……01

topics&news

3年に一度のお茶の祭典
世界お茶まつりに出展 ……………03
県産栗の品質向上を
令和4年度栗果実品評会 ……………03
静岡県産柑橘の販売強化を目指す
令和4年度静岡県柑橘販売協議会 ……………04
大田市場で県産バラをPR
静岡のバラフェア ……………04
県産いちごの販売戦略などを決定
静岡県いちご協議会総会を開催 ……………05
県産新米と本会ブランドのPR
テレビCMを制作と放映 ……………05
2022JA-SS笑顔満タン!
ありがとうキャンペーン抽選会 ……………05

お知らせ

建設部からのお知らせ ……………06
あぐりんく静岡からのお知らせ ……………06

宮農だより

ミカンの秋肥 ……………07
いちごのアザミウマ防除について ……………08

お知らせ

テレビ番組のご紹介 ……………09
JA静岡経済連公式SNSのご紹介……………09
お年賀茶のご案内 ……………10
JAタウンしずおか「手しお屋」おすすめ商品…10



産地・消費地の情報を集め 有利販売に取り組む販売情報センター

I はじめに

本会は「J A 静岡経済連3か年計画」の基本目標として「農業の飛躍的な拡大」を掲げ、販売力強化に向けた効果的な取組と事業提案・支援に取り組んでいます。そこで、今月から1月号まで3回に分けて、みかん園芸部の事業取組方針に基づいた販売戦略についてご紹介します。今月は、みかん園芸部の部門別販売戦略と販売情報センターの業務についてご紹介します。

II 部門別戦略について

令和4年度みかん園芸部の事業計画は、青果320・55億円、花き60億円、柑橘果樹152・1億円です。この計画を達成するため、野菜花卉課・柑橘果樹課の部門別戦略に沿った販売事業に取り組んでいます。令和3年度の品目別販売実績は表1のとおりです。

1. 関係部署との連携を強固にした中で販売強化と生産振興を図り、主力品目を中心とした取扱の維持拡大

表1 令和3年度品目別販売実績

青果

品目名	金額（百万円）
いちご	6,932
レタス	2,386
玉葱	1,918
ミニトマト	1,916
わさび	1,218
馬鈴薯	1,194
大玉トマト	1,171
セルリー	1,003

花き

品目名	金額（百万円）
ガーベラ	1,123
ばら	915
輪菊	795
トルコキキョウ	465
シキミ	267
こでまり	247
カーネーション	146

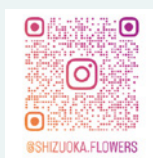
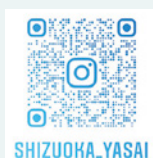
柑橘果樹

品目名	金額（百万円）
温州みかん計	11,935
はるみ	196
中晩柑	697
いちじく	145
キウイフルーツ	90



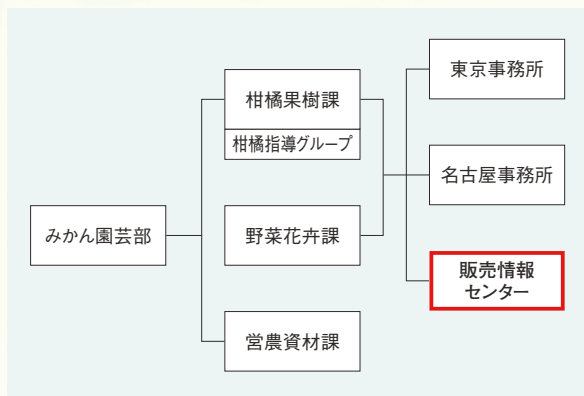
▲写真1 首都圏で開催した静岡県フェア

- ・品目毎の課題の洗い出しと対応策の検討と実践
 - ・卸売会社と連携し、生産コスト上昇を加味した価格交渉の実施
 - ・協議会、共販運営委員会を中心とした販売戦略の構築と実践
2. 営業力強化による販路拡大と直接販売の取扱量拡大

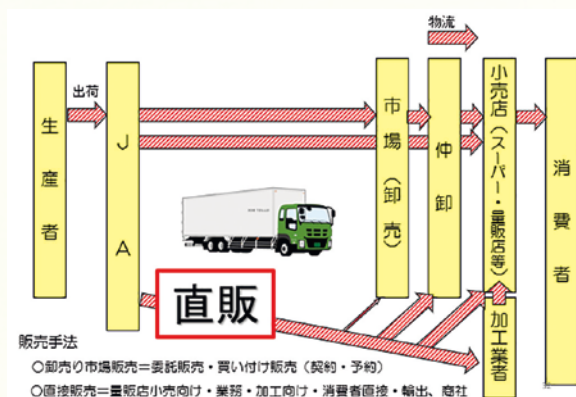


▲写真2 「静岡やさい」(左)と「静岡の花」(右) インスタグラムでは産地情報や消費地でのフェア、おすすめレシピなどの情報を発信

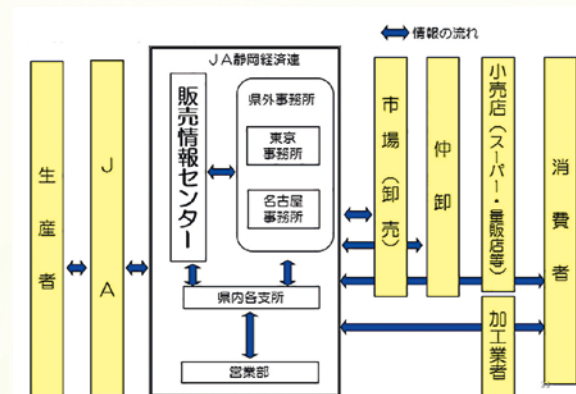
- ・直接商談による実需者とのマッチング強化
 - ・主力品目を中心とした情報発信・収集の強化
 - ・関係機関、関係部署との連携によるeコマース、輸出事業への取組
 - ・パートナー市場との定期的なヒアリングを実施し、直接販売予約相対取引などの占有率の向上
3. 農業生産法人への販売支援
- ・農業法人に対する消費地情報の提供並びに販売支援



▲図1 販売情報センターについて



▲図2 出荷物の物流について



▲図3 情報の流れについて



▲写真3 営農コスト上昇の情勢をパートナー市場と共有する意見交換会

販売情報センターは、野菜花卉課と柑橘果樹課を上設部署とする、販売事業に特化した三つの事業所の一つです（図1）。県内の青果・花き・

Ⅲ 販売情報センターについて

みかん園芸部では「静岡やさい」「静岡の花」のインスタグラムを開設しています。旬の情報をお届けしますので、より多くのフォロー、いいね！をお願いします（写真2）。

4. 新しい生活様式に即した販売促進活動
 ・SNSやメディアを活用した産地及び消費動向の発信
 ・定期的な「静岡県フェア」開催により本県産農産物のPR（写真1）

柑橘果樹における販売・精算業務を行っています。出荷物の物流については図2のとおりです。本会の県域としての補完機能を十分に発揮しながら、販売強化策を実践し、「県内の農家所得の向上」に向けて日夜業務に励んでおります。

1. 販売情報センターの業務
 産地、消費地の情報収集発信、JAから出荷された農産物の配荷業務（販売市場の選定）、卸売会社との取引価格交渉、品目ごとの販売対策の実践、市場などから支払われる販売代金の精算管理業務を行っています。情報収集発信は、産地の生育・出荷情報を取りまとめ、取引先へ発信、消費地や他産地の情報を収集し産地との共有に取り組んでいます。これらの情報を基に、出荷量の調整や販

路拡大・予約販売提案を実施しています（図3）。

販売価格交渉としては、生産出荷コスト上昇を意識した、価格交渉や予約販売の提案に向け、パートナー市場と協力、連携し取組を実践しています（写真3）。

販売対策は、「生産者の持続可能な農業経営を支援するための販売対応の実践」に向け、品目別販売戦略を作成し、それに沿った取組を実践するとともに、消費拡大のため宣伝事業の強化を図っています。

販売代金の精算管理は、日々における出荷データと、市場からの販売データの照合、販売価格の確認を行いながら、JAへの迅速な精算処理に取り組んでおります。

Ⅳ おわりに

今回のメイントピックスでは、みかん園芸部の部門別戦略と販売情報センターの業務を紹介しました。みかん園芸部は野菜花卉課、柑橘果樹課の販売、指導事業に加え営農資材課の購買事業を展開しております。販売情報センターは静岡県農業の維持拡大と農家所得の向上に向け、関係機関との連携、本会内部署間の情報共有を強く意識しながら、業務を実施しています。

次号は、みかん園芸部東京事務所の出組についてご紹介します。

問い合わせ先
 ●みかん園芸部 販売情報センター
 電話：054-284-9732

3年に一度のお茶の祭典 世界お茶まつりに出展

10月20日から23日の4日間、静岡市駿河区のグランシップで「世界お茶まつり2022（秋の祭典）」が開催され、仕上茶取扱農協協議会（事務局…茶業部）が出展しました。世界お茶まつりは、お茶の魅力を国内外に発信するために2001年から3年に一度開催され、2022年大会は「O-CHAで元気な笑顔！」をテーマに、お茶の新しい需要の創出、世界に向けた日本茶の魅力発信、ウィズ・アフターコロナ時代のライフスタイルに合ったお茶の提案を目的としています。

同協議会は、お茶やお茶関連商品などを展示・販売する「ワールドO-CHAマーケット」に11ブース出展し、協議会のJAが各産地のお茶を販売、本県JAグループのお茶のPRを行いました。茶業部は「静岡茶 揉一ひとえ」やお茶を使ったお菓子などを販売、来店客にお茶の試飲などを行いました。また、静岡わさび農業遺産推進協議会が出展したブースでは本会みかん園芸部と営業部が協力し、わさびやみかんを販売しました。



▲仕上茶取扱農協協議会



▲本会茶業部のブース



▲「ワールドO-CHAマーケット」会場



▲静岡わさび農業遺産協議会

県産栗の品質向上を 令和4年度栗果実品評会

9月21日、静岡県落葉果樹振興協会（事務局…柑橘果樹課）は、掛川市のJA掛川市富部集荷場で令和4年度栗果実品評会を開きました。

静岡県果樹研究センター果樹加工技術科の磯部卓文科長が審査長を務め、県の職員ら審査員4人が、前回より3点少ない9点の出品について形状や玉ぞろい、傷や汚れ、色沢、病害虫などについて審査しました。

磯部審査長は「本年は、前々日に台風14号が通過するなど出品数の減少が心配された中での開催となったが、全体に外観の良いものが多く厳選されたレベルの高い品評会となった。特に受賞対象のものは良い出来で生産者の優れた技術に敬意を表したい」と講評しました。

上位入賞者は次のとおり（敬称略、カッコ内はJA名）



金賞・掛川市長賞

掛川市農業協同組合代表理事組合長賞

鈴木 裕臣（掛川市）

銀賞・静岡県農林技術研究所果樹研究センター長賞

戸塚 昌男（掛川市）

銅賞 海野 二三（掛川市）、弓桁 治（掛川市）

静岡県産柑橘の販売強化を目指す

令和4年度静岡県柑橘販売協議会

10月3日、静岡県経済連柑橘委員会（一社）静岡県柑橘振興基金協会、本会（柑橘果樹課）は、静岡市内のホテルで「令和4年度静岡県柑橘販売協議会」を開きました。県、市場関係者、柑橘委員会やJA職員ら約70人が出席し、産地情勢や出荷計画、販売戦略などを共有しました。令和4年度の生育状況は、開花が早かったことや降雨により平年に比べやや大玉傾向で、前年比118%の5万トンの出荷を計画しています。

協議会で柑橘委員会の矢岸正敏委員長は、「精度の高い産地情報を発信し計画出荷に努め、市場と情報共有し有利販売に取り組む」と挨拶しま



▲静岡県経済連柑橘委員会の矢岸正敏委員長

した。また、本会柑橘果樹課は、肥料などの農業資材価格が高騰し生産コストが大幅に上昇していることを市場関係者らに説明し「生産コストが販売価格に反映してもらえないよう実需者へ情報提供してもらいたい」と話しました。

報告事項として、静岡みかんの認知度向上などを目的に、昨年引き続きテレビやネットなどのメディアを活用した県産温州ミカンの県下統一宣伝事業を報告した他、市場関係者からは各市場の果実などの情勢が報告されました。



▲産地情勢を報告

大田市場で県産バラをPR 静岡のバラフェア

野菜花卉課は、10月21日から28日の期間、東京都大田区の大田市場で、市場担当者らに向けた「静岡県産バラフェア」を開催し、県内産地で生産したバラ約200品種を展示しました。今回のフェアでは3年ぶりに産地（生産者・JA）が参加し、仲卸店頭で販売促進フェアを行いました。

本県は温暖な気候を生かしたバラ栽培が盛んで、産出額は全国第2位の産地です。共選産地としての安定したロットに加え業務や小売需要に対応する少量品種などバラエティに富んだラインナップも特徴です。

セリ開始前にフラワーオークションジャパン（FAJ）でJAおおいがわバラ部会飯塚哲郎部会長、大田花きではJA静岡市バラ生産組合鈴木雄介組合長がそれぞれでセリ前挨拶

を行いました。鈴木組合長は「共選産地として安定したロット品種の数々、業務や特殊な小売需要を見据えた少量品種など、バラエティに富んだラインナップが本県産バラの特徴です。さまざまなニーズに応えられるよう、オール静岡で生産努力を続けていきますので、静岡のバラをどうぞよろしくお願ひします」と挨拶しました。



▲JA静岡市バラ生産組合鈴木組合長（大田花き・写真右から3人目）



▲JAおおいがわバラ部会飯塚部会長（FAJ・写真中央）



▲仲卸店頭での販売促進

県産いちごの販売戦略などを決定 静岡県いちご協議会総会を開催

10月13日、静岡県いちご協議会(事務局：野菜花卉課は、静岡市内で「静岡県いちご協議会総会」を開き、生産者と県やJA・本会関係者ら33人が出席しました。

総会では、令和3年度の事業について報告され、令和4年度の事業計画や販売戦略などを協議、収支予算や役員といちご娘の選出などすべての議案が承認されました。

令和3年度の県産いちごの状況について、販売面では2月からレギュラーパックの量を2609に変更し数量を確保、販売戦略の実践により前年以上の金額を達成しました。令和4年度の事業計画では、新たな生活スタイルに併せた幅広い提案や消費宣伝事業を絡めたPRを実施し、生産コスト上昇を加味しながら販売強化策を実践し、農家所得向上に努めることを決定しました。販売目標は、年間出荷数量5千トン、販売金額70億円としました。



▲静岡県いちご協議会飯田寿夫会長(中央)

県産新米と本会ブランドのPR テレビCMを制作と放映

食糧課は、令和4年産の新米販売開始に合わせて8月下旬から9月中旬にかけて県産米の新米をPRするテレビCM「ミスター静岡コシヒカリ」新米が来た」編を放映しました。CMではお米のキャラクター「ミスター静岡コシヒカリ」が、県産米がお店や家庭で幅広く活躍していることを紹介し、今年の県産米が登場したことをアピールしています。

また、食糧課は食肉課と企画管理課と共同で、本会の公式ブランド「静岡そだち」の認知度向上を目的としたテレビCM「静岡そだちブランド」編を新たに制作し放映しました。9



▲テレビCM「ミスター静岡コシヒカリ
～新米が来た～」編



▲テレビCM「静岡そだちブランド」編



月下旬から10月末まで放映したCMは本会の公式ブランド「静岡そだち」(公社) 日本食肉格付協会「肉質等級3等級」以上の特選和牛と「玄米食味値83点以上」の静岡コシヒカリをアピールする内容となっています。

テレビCMは県内限定での放映となりましたが、動画投稿サイトYouTubeの「JA静岡経済連公式チャンネル」で配信中です。ぜひご覧ください。

本会YouTube公式チャンネルは、
右の二次元コードを読み取るか
「JA静岡経済連公式チャンネル」
で検索



2022JA-SS笑顔満タン！ ありがとうキャンペーン抽選会

9月26日、総合エネルギー課は県農業会館で、鎌野厚常務理事をはじめ関係者の出席のもと、「2022JA-SS笑顔満タン！ありがとうキャンペーン」のプレゼント抽選会を行いました。

抽選会では、特選和牛静岡そだちなどの当選者計330人を抽選しました。

キャンペーンは8月1日～8月31日の1か月間、県内のJA-SSで税込3,000円以上購入したレシートで応募するもので、一昨年度から従来のハガキ応募に加えWEBからの応募を実施しています。11,389通の応募のうち約27%の3,079通がWEB応募となり、同課では今後もWEBを活用したキャンペーンの展開などを予定しています。



建設部からのお知らせ

担当 建設部 054-284-9523

富士伊豆農業協同組合

伊豆の国地区 新店舗完成

伊豆の国地区本部・葦山支店 建設工事 竣工式

11月7日、J A 富士伊豆は、伊豆の国地区本部・葦山支店建設工事の竣工式を行いました。

神事は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行い、鈴木正三代表理事組合長をはじめ、最小限の出席者により厳粛に執り行われました。

本工事は、伊豆の国市旧葦山庁舎跡地を取得し、老朽化による建替えを検討していた葦山支店と地区本部の整備を合わせて建設を行いました。

新しい施設は、1階に葦山支店の機能を、2階には地区本部と会議室の機能をもたせた2階建の建物とし、外観は富士山の白銀の世界を表現したメタリック調の特殊塗装を施した外壁、建物内部は北側に見える富士山の眺望を意識した平面計画としました。また屋外には非常時用のLPガス発電機設備を設置しました。

設計監理は、静岡県経済連一級建築士事務所が行いました。



▲建物外観写真



▲玉串奉奠



▲鈴木組会長挨拶

【 営農ナビ 】 文字が大きく見やすくなってリニューアルしました！

あぐりんく静岡 からの お知らせ

農産物安全分析センター

分析メニュー、申込書、分析フロー（手順）を掲載しています。分析の際はコチラから！

経済連肥薬通信

更新

経済連肥薬通信11月号

経済連コンサルタントによる技術情報

柑橘果樹情報

茶園からみかん園への転換事例や栽培暦、柑橘誌の紹介を掲載しています。

販売情報

東京、名古屋、大阪の青果・花卉の概況を掲載しています。

●イントラから利用できます。

～他にも、農畜産物別の情報なども充実～

担当：生産資材部 生産振興開発課（TEL 054-284-9729）

県内
JA限定

生産・事業推進に
役立つ情報が満載!!

営農支援だより



ミカンの秋肥

温州ミカンの施肥基準では、春の「春肥」、夏の「夏肥」、そして秋の「秋肥」の3回に分けて施肥を行うようになっていきます。ここでは、秋肥の効果や注意点について説明します。

ミカンの施肥

施肥は、栽培期間に生育に応じて養分を供給することを目的としています。永年作物であるミカンは、生育ステージにより年3回に分けて施肥し、効率的に吸収させるようになっていきます（表1、2）。春肥は、新しい器官の形成に使われます。発芽当初は昨年蓄えた養分を使いますが、次第に春肥からの養分が、新しい枝葉や花を充実させることに役立ちます。

夏肥は枝葉の充実や果実の生育肥大に使われるだけでなく、葉の光合成による物質生産などに大きく関わっています。吸収率が最も高い時期なので、3回の施肥の中で一番多い施肥量になっています。

秋肥の役割

秋肥は果実の着果による養分の損耗を補い、樹勢の維持や翌年のための養分蓄積に使われます。

表1 普通温州の施肥基準（肥沃土壌、kg/10a）

時期	窒素	リン酸	カリ
3月下旬	4	4	3
6月中下旬	12	4	12
11月上旬	6	4	3
合計	22	12	18

表2 普通温州の施肥基準（普通土壌、kg/10a）

時期	窒素	リン酸	カリ
3月下旬	8	4	5
6月中下旬	12	4	12
11月上旬	10	4	7
合計	30	12	24

長期間果実が樹上にある普通温州や果実の糖度が高くなる品種では、隔年結果や樹勢低下の抑制に重要となります。青島温州や寿太郎温州、ゆら早生などの品種では、果実が養分を引き寄せる力が非常に強く、葉を維持するために必要な養分まで、果実が使ってしまうことがあります。着果が多い枝や樹では、葉は養分が欠乏して、黄化や落葉を引き起こすことがあります（図1）。

このため、秋肥は寒い冬を迎える前に樹を健全に保つための作業といえます。

秋肥の時期

秋肥は、極早生温州では収穫が終わった後に、早生温州では10月下旬に施用します。普通温州の青島温州は、表1、2のように11月上旬が施用時期となっています。養分の吸収は、早い時期の方が



図1 葉が黄化した樹

良くなっています。収穫前の品種では果実が樹上にあるため、早い施肥は着色の遅れや浮皮を心配する声があります。しかし、これまでの研究では、10月中旬以降であれば果実への影響は少ないとされています。

一方、遅くなると気温・地温とも低下して、肥料の吸収が悪くなります。柑橘では養分吸収に地温12℃以上が必要です。冬の乾燥した気象では、肥料は溶けにくくなり、根の養分の吸収も低下します。遅れないことも重要です。

マルチ栽培の秋肥

果実糖度を高める方法として、マルチ栽培が行われています（図2）。しかし、夏～収穫期に地面

をマルチで覆いますので、露地と同じように施肥できません。秋肥を行わない園地も見られます。このため、マルチの施肥法として、一時的にマルチをあけて灌水と施肥を行う方法が研究されています。灌水することで土を湿らせて、養分吸収を高めることができます。

秋肥の時期に施用できない場合は、収穫後にマルチを取り除いて施肥します。地温が低く土が乾燥しているので、土と混ぜたり、灌水するなどして、吸収を促すようにしましょう。



図2 果実糖度を高めるマルチ栽培

（柑橘果樹課 コンサルタント

吉川公規）

いちごのアザミウマ 防除について

近年、いちごではアザミウマの発生が多くなっています。アザミウマは、花や果実に寄生するので、少しの発生でも被害が発生します。また、ハウス内の防除をしても、野外からハウスに飛び込んでくるので、根絶が難しい害虫です。使用できる農薬も、ハチや天敵への影響を考えると制限されるため、思うように使用できません。薬剤によっては、効果の低下も懸念されます。

ここでは、農薬だけでなく、天敵などの手段を使つての防除についてご紹介いたします。

「いちご」で発生するアザミウマ

静岡県内のいちごで発生するアザミウマについては、過去にはミカンキイロアザミウマが主体でしたが、現在は、ほぼヒラズハナアザミウマとされます。

比較的大型のアザミウマで、いちごなどの花に寄生し、主に幼虫が果実を加害します。20℃以上の気温、晴天であれば野外を飛翔し、ハウス内に飛込みます。

通常ハウス内で発生が多くなるのは4月頃からです。年内に大量にハウス内に侵入した場合、年内あるいは2月頃から被害が出る場合があります。

アザミウマの防除方法

① 農薬

防除効果の高い薬剤もありますが、カブリダニなどの天敵に影響があるものが多く、収穫期中は使い難いと思われます。また、天敵を利用していない圃場でも、効果の高い薬剤の中にはハダニのリスクを上げることがある場合があります。天敵を使用している圃場でも使用できる殺虫剤はありますが、ヒラズハナアザミウマに対しては高い効果が期待できない薬剤もあり、発生が多い場合、防除が難しくなります。

② ハウス周辺の除草

ヒラズハナアザミウマは屋外の花に寄生しており、そこからハウスに飛び込んできます。近隣の花の咲く雑草を除草する事で、飛込んでくるアザミウマを減らす事が期待できます。

③ 防虫ネットの展張

除草に際しては、雑草の開花前に行つてください。開花後に除草すると、花に寄生していたアザミウマが一気にハウスに飛び込んでくる可能性があります。

④ 天敵の利用

前述のように、農薬のみでの防除は難しいと思われ、ハダニなどの天敵と併せてアザミウマ対策の天敵を使用する事も有効です。

天敵のみでの防除は難しいので、比較的效果のある農薬と組み合わせ、農薬の散布回数を少なくする事で、散布労力を減らしたり、農薬の効果低下を防いだりする事も可能です。

アザミウマ対策の天敵としては、「アカメ」（アカメガシワクダアザミウマ）が有効です。

「アカメ」の特徴

- ・アザミウマを捕食するアザミウマで、大型のヒラズハナアザミウマの2齢幼虫も捕食できる。
- ・餌になるアザミウマが居なくても、花（花粉が餌になる）があれば定着が可能。
- ・日本の土着天敵で、低温（5℃）でも活動可能。
- ・アザミウマと同じく花にいるので、アザミウマを待ち伏せて捕食できる。
- ・被害を出す幼虫を捕食するので、被害果を抑える効果がある。

「アカメ」の使い方

- ・1月下旬〜2月上旬に2本/10aを放飼し、2〜3週間後に再度2本/10aを放飼する。
- ・発生の多い地区では、年内（1番花満開期頃）にも放飼すると有効。
- ・アカメが付着している紙束を、いちごの株元に均等に置いていく。

「アカメ」使用の注意点

- ・放飼前に必ず農薬による防除を行い、アザミウマの密度を下げたから放飼する。

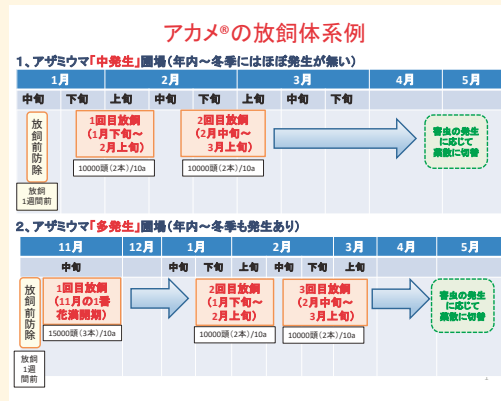
- ・防虫ネット（1mm以下）を展開したハウスで使用する。
- ・放飼後（4月以降）、被害果が見え始めたら、農薬による防除に切り替える。

アザミウマは、野外から飛込んでくる厄介な害虫です。前述の対策の他に、前作で発生していたアザミウマをハウス内に残さない事も必要です。農薬だけに頼るのではなく、各種の対策を併用して、出来るだけハウス内のアザミウマの密度を高くしないようにしてください。アザミウマによる被害が多い場合は、ハウスの設備や防除実態の確認、改善を試みてみてください。

（肥料農薬課 専門推進員 村上 薫）



アザミウマを捕食するアカメの成虫（左）と幼虫（右）



「しずおかごはんが食べたい！」(テレビ静岡)



担当：食糧部 食糧課 (TEL:054-284-9737)

静岡県産米麦流通連絡協議会（事務局：食糧部）は、テレビ番組「しずおかごはんが食べたい！」(テレビ静岡・全11回放送)に協賛し、県産米のPRを行っています。

令和4年度の第6回目（10月15日）の放送では、お笑い芸人のオードリー・春日俊彰さんが、「掛川コシヒカリ」を紹介しました。「掛川コシヒカリ」は強い粘りと噛みしめるほどに広がる甘みが特徴。番組では、JA掛川市良質米部会の平尾正康部会長と同JA山下拓哉さんがビデオメッセージで出演し「新米の時期が来ました。今年も美味しいコシヒカリが収穫できたので香り・味・粘りを楽しんでみてください」とアピールしました。また、番組では東山茶と茶草場農法についても紹介し、春日さんが東山茶を試飲しました。

次回の「しずおかごはんが食べたい！」は、藤枝市と焼津市からフォーリンラブ・バービーさんが紹介予定です。放送予定は11月19日（土）の夕方5時となりますので、ぜひご覧ください！



▲生産者からのビデオメッセージを紹介



▲「掛川コシヒカリ」を紹介



▲「掛川コシヒカリ」を味わう春日さん

JA 静岡経済連公式SNSのご紹介

本会では、県産農畜産物の魅力や最新の産地状況や情報をお知らせするため、SNSを開設しています。令和4年10月からは新たに野菜花卉課が「静岡やさい」Instagramアカウントを開設し、本県農産物の産地園場の最新生育情報やおすすめレシピを紹介しています。本会公式の各SNSは表のとおりとなります。ぜひフォローをよろしくお願いします！



本会ホームページ下部に各公式SNSへのリンクを掲載しています



公式SNSの一覧

Instagram

NEW shizuoka_yasai
JA 静岡経済連
「静岡やさい」【公式】

旬の「静岡やさい」の魅力を発信します！



shizuoka.flowers
JA静岡経済連
「静岡の花」【公式】

自慢の「静岡の花」の魅力を発信します！

shizuoka_keizairen
JA静岡経済連【公式】

主にネット通販サイト「JAタウン しずおか『手しお屋』」の情報を発信します！

YouTube

JA静岡経済連公式チャンネル



Facebook

JA静岡経済連「静岡の花」



Twitter

JA静岡経済連・JAタウン しずおか手しお屋【公式】



お年賀茶

新しい年を慶びのお茶で迎える

新年のご挨拶に毎年ご好評をいただいている
お年賀茶のご案内です。



輝かしい新年のご挨拶にふさわしい、
お年賀茶の定番！
金粉入りで鮮やかに！
縁起良く！



17100654

金粉入りお年賀茶
(カートン入り)

30g×10個

6,400円(1個あたり 640円) (常温365日間)
※10個入での販売となります。
※包材のデザインが変更になる場合があります。

17100655

御年賀茶
(たとう紙入り)

40g×10個

5,900円(1個あたり 590円)

(常温365日間)

※10個入での販売となります。

17100656

御年賀茶
(たとう紙入り)

80g×5個

4,850円(1個あたり 970円)

(常温365日間)

※5個入での販売となります。

茶どころ静岡定番の煎茶を、やさしく、たとう紙で包みました。温かい心を先様にお伝えするお勧めの逸品です。



あっさり風味の煎茶を、あえて素朴にクラフト袋へ詰めてみました。シンプルに心を伝えます。

17100757

御年賀
(クラフト平袋)

30g×10個

3,500円(1個あたり 350円)

(常温365日間)

※10個入での販売となります。



商品の価格はすべて消費税込みのお届け価格になっています。

このマークの商品にはのしを同梱することができます。
(ご注文時にお申し出ください)

年内配送のご注文の締切

令和4年12月9日(金)

*年内配送は12月23日(木)頃までのお届けとなります。

*商品の価格はすべて消費税込のお届け価格になっています。(別途送料がかかる地域があります)

【お問合せ先】

静岡ローディング株式会社 農協直販事業部

〒422-8006 静岡市駿河区曲金3-8-1

TEL 054(288)6688 FAX 054(288)4444

お電話(通話料無料) 0120-014859

FAX(送信料無料) 0120-418465



JAタウン しずおか「手しお屋」おすすめ商品のご紹介

お得なキャンペーン実施中です！



産地直送通販サイト

「JAタウン」で旬の食材を楽しもう

国産の農畜産物を食べて、「国消国産」を実践しましょう。
「国消国産」とは、「国」産が必要として「消」費する食料は、できるだけその「国」で生「産」するという考え方です。

送料無料キャンペーン実施中！

10月13日から11月末日まで

詳しくはこちら

おいしい日本と暮らそう
JAタウン



キャンペーン対象商品の
一例をご紹介します！

詳しくはキャンペーンページを
ご覧ください。

みかん飲み比べセット
(ぎゅっとみかん&みかん日和)
各30缶×2箱

通常価格6,640円→

5,640円(送料・税込)



贅沢な果汁100%のみかんジュースと後味すっきり70%みかんジュースの飲み比べセットです！

特選和牛静岡そだち
(すき焼き・しゃぶしゃぶ用)
コース400g

通常価格8,200円→

7,200円(送料・税込)



黒毛和牛の雌子牛だけを厳選し、JA静岡経済連飼育マニュアルにより県内指定農場で育ちました。霜(サシ)が適度に入り、とってもジューシー♪和牛本来の風味と柔らかさで、食べた瞬間口の中においしさが広がります。

おいしい日本と暮らそう
JAタウン



しずおか手しお屋

検索

※販売価格や販売時期は変更する場合があります。

担当：営業部 流通開発課

(TEL:054-284-9728)

◀キャンペーンページはこちら



静岡県のJA・JA静岡経済連

最新のICT農業機械が大集合!!

JAスマート農業フェア



**入場
無料**

ご来場でもれなく
**記念品
プレゼント!!**

日時 2022 ※雨天決行

11/30 水

AM9:00 ~ PM3:00

会場

**吉田公園西側特設会場
静岡県榛原郡吉田町川尻**

ICT(情報通信技術)、ロボット、ドローン等を活用し
農作業効率化、生産性向上を目指す「スマート農業」。
その進化した農業機械を多数展示・実演します。
この機会に、ぜひご体感ください!!

会場案内MAP



主催 静岡県のJA/JA静岡経済連

担当：生産資材部 農業機械課 (TEL: 054-622-3455)

